

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

エンジョイ・サイエンス研究委員会

文責：エンジョイ・サイエンス研究委員会 委員 人見 美哉

令和4年度の活動振り返りと令和5年度の明るい展望

1. はじめに

エンジョイ・サイエンス研究委員会は、コロナ禍でイベントが休止に追い込まれる中、日々研鑽に励み、積極的に対外活動をしております。

令和4年度の実績としては、寿都町の春(5/28)・夏(7/30)・秋(10/23)の3回のサポートと特別授業(9/27)、東白石小学校での特別授業(7/6)、札幌市内で行われたおもしろ科学実験の夏(8/6)・冬(1/14)の2回のサポート、東京で開催されたサイエンスアゴラへの参加(11/4)、1年の締めくくりの理科実験事例発表大会への参加(3/4)、定期的に行われている計6回の定例会、が開催されました。今回はこれら活動について簡単ではありますが振り返りたいと思います。

2. 活動の振り返り

2-1. 寿都町サポート

寿都町サポートは教育委員会からの要請で開催しているもので、弊会のメインイベントとして定着しております。年3回実施されるため、事前の打ち合わせから機材・資材の準備までお互い協力の下で実施しています。

今年の題材ですが、春は紙飛行機、夏はペットボトルロケット、秋は羽ばたく蝶々の作成、と飛び物を中心に実施されました。参加者は小学生を中心に18～25名で、会場が広いこともあり毎回子供達は自分で作ったもので大はしゃぎ。特にペットボトルロケットは天気にも恵まれ、青空に向かって気持ちよく飛んでいったのを記憶しています。

特別授業は例年題材が決まっており、5年生の「流れる水のはたらき」と6年生の「大地のつくりと変

化」です。「流れる水のはたらき」ではグループワーク、動画を活用した授業など工夫がなされ、子供達の興味を引いていました。

「大地のつくりと変化」ではこれまでの内容に新たに石膏と重曹を用いた火山噴火実験(写真1)を取り入れ、粘性の違いによる噴火形態の違いについて学んでもらいました。



写真-1 石膏と重曹を用いた火山噴火の実験

2-2. 東白石小学校特別授業

本授業は月寒川にぎわい川まつりの代替え開催で実施されているもので、身近な月寒川が持つ自然の重要性に気がついてもらう授業です。授業は生き物グループ、水質・ゴミグループの2つに分かれて実施しています。生き物グループはどんな生物がいるか、外来生物は生息しているか、水質・ゴミグループは日向と日陰の水温、濁り、投棄されたゴミに着目して調査してもらい、最後は新聞にまとめてもらいました。

2-3. おもしろ科学実験

本授業は学習障害がある子供達への出前授業で

す。今年初めて2回開催され、夏は様々な飛び方をする紙飛行機作成とハンディ扇風機を利用した空中浮揚の実験(写真2)を行いました。また冬は羽ばたく蝶々の製作、飛ぶプロペラ実験を行いました。作った教材で大いにはしゃぐ子供達は障害があるとは思えません。子供は皆一緒ですね！。



写真-2 ハンディ扇風機を利用した空中浮揚の実験

2-4. サイエンスアゴラへの参加

東京で開催されたサイエンスアゴラ。パネルディスカッション企画で「技術の力で心を震わす理科授業を！」が開催され、弊会を代表して永洞技術士に参加してもらいました。詳細はコンサルタンツ北海道159号でお知らせしておりますが、永洞技術士には弊会の活動内容の報告に加え、我々を代表し科学実験に対する熱い思いを伝えてもらっています。また参加内容は直後の定例会で報告されており、我々の活動に活かされております。

2-5. 理科実験事例発表大会

本大会は全国の理科実験授業を行っている技術士による発表大会になります。今回で7回目の開催になり、7題の発表がありました。

弊会からは6名の参加があり、小山田技術士による弊会活動についてPPTでの紹介、また永洞技術士によるハンディ扇風機を利用した空中浮揚の実験の実演等を行いました。本大会はお互いの情報共有で年々レベルが高くなってきており、とても良い大会になってきています。我々も負けないう今まで以上に研鑽に励み、より楽しく面白い理科実験にし

ていくことを再認識しました。

2-6. 計6回の定例会

コロナ禍ではありましたが、弊会では情報の共有、新たなネタ開発を重視し、エルプラザにおいて対面にて実施しております(どうしても仕事等で参加が難しい方はwebにて参加)。ありがたいことに毎回10名前後の参加があり、活発で楽しい定例会となっております。新たな参加者も順調に増えており、一時期の人手不足による困難な時期が嘘のようです。出前授業も重要ですが、会も頑張っで存続させねばと努力の毎日です。

3. 令和5年度の依頼殺到！

新型コロナウイルスが5類に移行されることを鑑み、各方面から出前授業の依頼が殺到しております。新たな依頼としては、占冠町教育委員会から依頼があり、4/19に早速3名の技術士による打合せを行ってきております。先方の感触も非常に良く、これから内容の検討に入りますがとても楽しみです。またコロナで中止となっていた北広島市輪厚児童センターでの出前授業、月寒川にぎわい川まつりなど復活の報告を受けており、今から嬉しい悲鳴状態です。

4. 体制一新！

偉大な諸先輩方の後を受け、小山田技術士が代表、私人見が幹事長で体制を引き継ぎ、かれこれ7年間やってきました。一時は参加者が減り、会の存続の危機にありましたが、小山田代表の尽力により新たな会員の獲得や青技交とのコラボを企画するなど見事に復活。小山田技術士には感謝しかありません。長らくのご活躍、大変お疲れ様でした。

令和5年からは新たに永洞技術士を代表に、堂領技術士を幹事長に据えた超がつくほどの強力な体制になります。皆で今まで以上に努力していく所存ではございますが、会の更なる発展に向けて皆様からの温かいご支援、ご鞭撻、何卒よろしく願いいたします。